

学徒兵教育を回顧して



小林 与作
(秋葉3)

小林さんは、昭和十六年七月、会軍第七十五連隊第三機関銃中隊に入隊。昭和十八年十二月から学徒兵教育にあたり、終戦はトランプ島で迎えました。

「最近のニュースや新聞などの報道から、戦争を引き起こす火種らしきものが世界から消えたわけではないのでは考えたりして……、だから全く戦争がない、絶対戦争に巻き込まれることはない」と自信を持って言い切れるかどうか」と話す小林さん。当時の学徒兵の皆さんとは、手ばかりとなるものが全て消滅してしまっただけで、再会する機会を失ったまま五十年が経過したそうです。

昭和十六年七月、私は臨時招集で会軍第七十五連隊第三機関銃中隊に入隊したが、古参兵の話などを聞き、軍隊生活がこれぞよいのかと大きな疑問を心中深く抱いたものだった。その反面、こうした不条理な教育が団結や戦友間の信頼関係に役立ったことも否めない事実だったことも知った。しかし大東亜戦に突入後は、古参兵が言うような不条理な教育は影を潜めた感がある。

そして昭和十八年十二月、野戦分隊長要員として毎日の演習に精励中、突然私は臨時徴集現役兵二十名の教育係助教を命じられた。中隊長は「教育では信頼関係を基本にして軍紀確立に努力するよ」と訓示された。私は中隊長の言葉を聞き、我が意を得たと思った。このたびの部隊教育は、私の中隊が委託されたわけで、教官には本隊出身の将校がなり、私は優秀な二人の兵長を助手に、教官の意図に従って学徒兵教育の計画を作成した。計画を立案するにあたり、隊長の期待に沿わなければならないため、私自信も大変

な勉強が必要だった。

教育は軍人勅諭による精神教育に重点を置き、実技として各個教練や銃剣術を実施し、専門の重機関銃操作は行わなかった。学徒兵は高等教育を修了しており、また学校教練の経験もあるため、教育期間は二カ月に短縮されていた。私は学徒兵に対して私的制裁は禁手と心に誓っていた。古参兵からは「班長の教育は手ぬるい」と批判されたようだが、隊長の意図に従い、自分の思うとおりに進んだつもりであった。学徒兵は国の要請に進んで応じた情熱の持ち主であった。ただ、教育期間中の学徒兵に私の身の回りの世話までやらせてしまったが、今思えば申し訳ないことだったとも思う。鬼の居ぬ間に洗濯、教官不在のときは多目に休憩し、煙草も与えて自由談笑もした。意思の疎通には絶好の機会と、相互の認識、団体の精華に対する考え方の勉強等大いに効果があった。学徒兵には上下同僚間の信頼度の向上に役立つと思う。休日外出のない彼等の為に、休日外出もした。せめて会



学徒兵時代の会軍神社参拝(前列左から三番目が小林さん)

軍の街を見せたく、市街見物、会軍神社、三八高地、遠く会軍川を渡り、射撃場、砲兵隊等まで足を伸ばしたこともあった。特に民家に立ち寄ったことは興味深かったらしい。

学徒兵たちは二カ月後に中支の教育施設へ転属となったが、厳しい幹部教育を受け、優秀な指揮官としての活躍が期待されていた。中隊を去るに当たり、心から「武連長久」を祈った次第である。

(注) ①会軍 朝鮮民主主義人民共和国の北東部、中国との国境をなす豆満江中流の東岸に臨む都市。②トラック島 西太平洋カリリ諸島の主島で、米国防託統治領のミクロネシア連邦に属する。第二次世界大戦中、日本海軍基地があった。

お買物、ご用命は市内で

当店の宴会の御膳には、
ふく刺が付いています。

本町2 横浜亭 ☎22-2225

住まいのガードマン
電話 (0250) 24-2287
南山中工務店
五十嵐便利屋サービス
新津市滝谷町19-3

- 便所の改造
 - 雨漏り修理
 - カワラの吹付
 - 風呂場の改造
- (ユニットバスに入れ替え)

思い出ばかり

鈴木 静男
(本町3)



鈴木さんは、昭和十九年一月、現役兵として長春近くの公主嶺に現地入隊。野戦重砲兵として国境警備にあたり、朝鮮の清州島で終戦を迎えました。「どこかく平和であり続けることが大切で、子孫のためにも平和のまちをいつまでも残していければ、世界各国の歴史や文化を学び、それぞれの立場から物事を見つめてみる必要がある」と話しています。

現在、鈴木さんは三年続けて中国へ足を運び、現地の人たちと交流を深めながら、戦時中の思い出をなみしめたりしているそうです。※鈴木さんは、戦時中の思い出を語って綴っています。

異文化に触れ 人の歩いた道を辿り八月十五日となり西瓜や瓜が熟し 玉蜀黍が出る足元の草むらから聞こえる虫の音が無念の死を遂げた人々のすすり泣きにも聞こえ 立ち止まるやさしい言葉もかけなかったが子供達は成長し 皆一人立ち真白いシャツを着た島の少年は今頃 どうしているかと遠い昔に帰って行く

○軍隊手帳 関東軍 挽馬野戦重砲兵第一期検閲が終わる 国境警備につき転んで肋骨にひびが入り 練兵休三日新編成部隊に転属 南の島に上陸 敗戦○私的制裁禁止 ながられても 初年兵は ありがとごうございましたと札を言い怪我をしても 転んだことになりイジメ 暴力はなかったと言いつつ 管内靴を紛失し隣の内務班まで捜しに行き古兵に半殺しの目に遭い 或いは四つん這いになり 馬となり羊となりいろいろと鳴き声が変わり

班内を一巡し 許されて戻る消灯ラッパが鳴る

○軍馬 戦争に敗れて人つ子ひとり通らない村の道をあるじに見捨てられた軍馬の群れが首をうなだれ とぼとぼ南の方へ歩いて行つたと言う声をかければ立ち止まり 呼ばれた方を振り向きどこまで行つたらあ の馬たちは

○復員証明書 済州島からアメリカ軍の上陸用舟艇に乗せられ九州の港に上陸 日本女性がアメリカ軍人とたわむれる見馴れない姿に驚き 敗残兵のみじめさを知り 貨物列車に乗せられ 哀しくなったから途中 一人客車に乗り換え 「復員証明書」を提示 帰郷

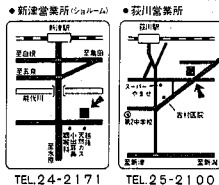
あれから五十年 俺の ガリ版刷り「復員証明書」は 色あせ 黄色に変色しても 人々の平和への願いは消えない 高まり 広がり 続いて行く

お買物、ご用命は市内で

越後天然ガスグループがお送りする
'95 ガス展
10月21(土)・22(日)・23(月)
AM10:00~PM5:00

- 各種ガス器具の展示、実演及び特別割引販売
- 家庭用調理小物の即売
- コーヒーサービス
- その他ガス及住宅設備に関するご相談をお受けします。

※招待状ご持参の方に「いいもの、プレゼント!!」



TEL.24-24171 TEL.25-2100